

小郡中学校の井戸水から発がん性の疑いがある 物質テトラクロロエチレンを検出 上水道への切り替え急ぐ 上水道引込み工事費を可決

9月の検査で検出

小郡中学校ではこれまで井戸水を使用してきましたが、毎年行っている水質検査において、9月17日の検査の結果、初めて国の水質基準値を超えるテトラクロロエチレンが検出されました。

テトラクロロエチレン検査の水質基準値は0.01mg/l以下ですが、小郡中学校で検査した5か所ではプール0.056mg/l、受水槽0.052mg/l、高架水槽(上)0.043mg/l、高架水槽(下)0.027mg/l、職員室0.045mg/lといずれも水質基準値を大きく超えていることから、直ちに井戸水の飲用を中止するとともに周辺の井戸利用者への注意喚起を行いました。



▲小郡中学校のプール



▲小郡中学校(井戸水)の受水槽

周辺では検出されず

その後、小郡中学校周辺半径500m内の調査を行いました。

第一回調査を9月20日に3箇所、第二回調査を10月2日に22箇所、第三回調査を10月17日に5箇所、第四回調査を10月31日に4箇所それぞれ行いましたが、周辺地域の調査結果につきましては、問題はありませんでした。

工事費880万円を可決

今回、小郡中学校の井戸水から基準値を超えるテトラクロロエチレンが検出されたことを踏まえ、早急に井戸水から上水道に切り替える必要があることから、引込み工事費として880万円の予算が提案されました。



テトラクロロエチレンとは？

無色透明の液体で、金属部品の洗浄剤、ドライクリーニング洗浄剤や溶液として使用されています。

水に含まれたテトラクロロエチレンは揮発しやすいため、加熱すれば簡単に取り除くことができ、沸騰後1〜2分で95%が、3分で98%が、5分以上沸騰すればほとんど除去されます。

健康への影響については、発がん性の疑いがあることから、国は水質基準を0.01mg/l以下と定めています。これは「人が毎日2リットルの水を生涯飲み続けた場合、10万人に一人の割合で発がんする恐れがあるレベル」とされています。WHO(世界保健機構)の水質基準は0.04mg/l以下と定めています。

公職選挙法では、政治家が選挙区内の人に対し、次のような行為をすることは禁止されています。また、有権者が寄付を求めることも禁止されています。

- 入学・卒業・就職・出産などの祝いに金品を贈ること
- 病気見舞いに金品を贈ること
- お中元やお歳暮を贈ること
- 葬式の花輪・供花を贈ること
- お祭りの時にお金を寄付したり、お酒を贈ること
- 議員が年賀状等のあいさつ状を出すこと(答礼のための自筆によるものは除く)